



国際交流サロン

英単語3語以内で話す日米友達会話です。学校で習った表現にプラスして使うとコミュニケーションに親密さが生まれ、自然な会話で外国人と仲良くなれます。さあ、世界に友達をつくって交流を始めましょう。

アメリカ英語	カタカナ表記アメリカ英語	ローマ字表記	日本語
What's wrong?	ホワッツ ウロング?	Do-shita-no?	どうしたの?
I'm fine.	アイム ファイン	Genki-dayo.	元気だよ。
Nothing.	ナッシング	Nan-demo-nai-yo.	何でもないよ。
Leave me alone!	リーブ ミー アローン!	Hottoite!	ほっといて!
Really?	リーリイ?	Honto-ni?	ホントに?
Is that so?	イズ ザッツ ソー?	So-nano?	そうなの?
How come?	ハウ カム?	Do-shite-nanoyo?	どうしてなのよ?
What's the difference?	ホワッツ ザ ディッファレンス?	Nani-ga chigau-no?	何が違うの?

平成29年度一般社団法人笠間市国際交流協会総会

日時：6月17日(土) 受付開始：午後1時
総会開始：午後1時30分～3時 会場：笠間稲荷神社・稲光閣

総会終了後に、国際フォーラム「What's the difference? 「外国人から見た日本人の生活スタイル」のタイトルで意見交換会を行います。普段当たり前に行っている私たちの習慣を外国人はどのように見ているのでしょうか。また、私たちが海外に出かけたときに見かける日本の商品は、外国の家庭で需要があるのはどうしてなのでしょう。皆さんお誘い合わせの上、ご参加ください。

6月の日本語教室開講日

3日(土)、10日(土)、17日(土) (友部公民館 午前10時～)
※外国人相談も受け付けています



飯田城址遺跡見学会

【問い合わせ】一般社団法人 笠間市国際交流協会 Tel.090-2761-8711 (木村美枝子)

●6月の国際交流情報●

市長コラム

日本一の栗産地

笠間市は、栗の生産日本一です。ここ数年、生産者や関係者の努力、およびマスメディア等の報道により、全国的に「笠間の栗」の知名度がアップしてきています。

しかし一方で、栗農家や生産面積の減少、栗畑の用途変更が進んでいる現状があり、耕作地の維持や生産量の確保をどうするか今後の大きな課題となっています。需要はあっても生産量が確保できない状況は、笠間の栗ブランドにとっては大きなマイナスです。



栗生産拡大事業ほ場

市では、対策として栗農家への支援を行っているほか、市農業公社が後継者のいない栗畑を中心に借地をし、植栽、改植、剪定などを行い、生産拡大と品種・サイズ別出荷を推進する笠間の栗生産拡大事業に取り組んでいます。

現在、市農業公社にご提供いただいている栗畑は10ヘクタールを超えています。さらに後継者のいない栗畑の情報提供を市民の皆さんにお願いしているところです。

今後は、より笠間の栗を楽しんでいただけるように、栗の和菓子・洋菓子・料理・加工商品の販売など、すべての味わいができる拠点づくりを進め、栗の名所と呼ばれる長野県小布施町に負けない栗の街をつくりまします。市民の皆さんの協力をお願いします。

笠間市長
山口伸樹